

避難の基本的な考え方

◎ ●●地区 には完全に安全な場所はない！

◎ 早目の行動が重要 状況に応じた避難場所の選択を！

◎ いつでも避難できる準備を 常日頃から！

避難に関する情報の流れ

防災気象情報
(気象庁等)

避難に関する
情報 (●●町)

大雨注意報発表
氾濫注意情報

状況により

(注意を促す情報)

大雨警報発表
避難判断水位

状況により

避難準備・高齢者等避難開始
発令

土砂災害警戒
情報発表
氾濫危険水位

状況により

避難勧告発令

メッシュ情報
において

状況により

避難指示発令

実況で基準値を超過

災害発生

私たちはどのように？

(要支援者の支援を含む)

☐ ●●区長の判断により、避難準備・高齢者等避難開始の発令段階よりも前に●●小学校の鍵を開ける

☐ ●●区の要支援者の方々の状況を組単位で、訪問や電話で確認し、避難を開始する(検討中)

☐ 要支援者を車で避難場所まで搬送する

☐ 避難が終了したら組長は区長に連絡
組長は区長に避難終了報告

☐ 要支援者の避難支援が終了したら、自分自身も避難する

☐ 家族と離れている方は、どこに避難したかを連絡する

☐ 消防団は町内を巡回しスピーカーで広報、逃げ遅れた区民がいないか確認

☐ ここまでに(避難指示(緊急)の発令前を目標)要支援者他、避難を要する区民の避難行動を終了

☐ いざという時は、自宅の中のできるだけ安全な部屋に移動する

どこに避難？

☐ ●●小学校の2・3F

☐ ●●町福祉施設など要支援者を受け入れ可能な施設

☐ ●●地区と協定を締結している宿泊施設

☐ 地区外の親戚・知人の家

